熊日1971.05.26

チッソ幹部追及も

大阪府警 総会の過剰警備で

【大阪】二十六日、チッソ株主総会で一株株主の都島区友渕町一ノ二、予備校生久留米宏之君(一九)がガードマンに暴行された事件を調べている大阪府警警備部は、二十九日、久留米君が自主警備に当たっていた特別防衛保障会社のガードマンを医師の診断書を添えて大阪・西署に告訴したことで、早急に同社幹部らの出頭を求めて取り調べることになった。

これまでの調べでは、久留米君は友人と二人で会場に行き、告発する会から株券をもらって入場、総会終了後、会場一階の前の席でガードマン約六十人が告発する会の人たちに暴行を始めたので見に行ったところ、急になぐられたという。同部では二十八日から西署に捜査員を派遣し、準捜査本部を置いて事情を調べていたが、特別防衛保障会社の幹部はこれまで取り調べに応じていなかった。しかし久留米君が告訴したことで、捜査は進展するものとみられる。

また同部は、総会前日の二十五日にチッソ幹部に対し行き過ぎのないよう、厳重に警告したにもかかわらず、このような事件が起きたことを重視、チッソと特別防衛保障会社の契約方法などによっては、チッソ会社幹部を取り調べることもあるとしている。